



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

令和4年12月16日から、北海道と東北沖の日本海溝と千島海溝の周辺でマグニチュード7以上の地震が発生した際、さらに大きな後発地震が起こるおそれがあるとして、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表し、住民に注意を促す取り組みが始まります。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表された場合、後発地震が起きててもすぐに避難できるように非常持ち出し品の確認などを行い、備えるようにしましょう。

続いて発生する地震に注意！



マグニチュード
M7.0以上の地震発生

北海道・三陸沖 後発地震注意情報

2022年12月運用開始

東日本大震災のときは

3月9日
M7.3

続いて
発生

3月11日
M9.0

すぐに避難できる体制の準備を！

日本海溝・千島海溝沿いで巨大地震が発生した場合、北海道から千葉県にかけての広い範囲で想定される甚大な被害に対し、備えの再確認や迅速な避難体制の準備を。

枕元に靴等を置いて寝る



すぐに逃げ出せる
体制での就寝



非常持出品の
常時携帯

インターネット



緊急情報の
取得体制の確保

崩れやすいブロック塀等に
近づかない



想定されるリスクから
身の安全の確保



日頃からの
備えの再確認

- 情報発信されたとしても、必ず後発の巨大地震が発生するとは限りません。
- 本情報では、地震発生後1週間は、後発地震に備えた防災対応を呼びかけますが、事前避難は呼びかけません。また、1週間経てば、後発地震が発生する可能性がなくなるわけではありませんので、引き続き、地震の発生に注意が必要です。
- 本情報の発表がないまま、突発的に巨大地震が発生することもあるため、日頃から地震への備えを行っておくことが大切です。

詳しくは
こちら



詳しくは、総務課 防災係まで。